

論文の内容の要旨

高機能自閉症スペクトラム障害成人の小集団認知行動療法による 感情制御プログラムの効果検証 ～ランダム化比較試験を用いて～

氏名 黒田美保

自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder: ASD) は、対人コミュニケーションの障害および限局的な行動と興味/反復的で常同的な行動様式を示し、誕生から生涯続く発達障害である。近年では、一般知能の成人において不安やうつの治療過程で ASD と診断される人も増えている。こうした不安やうつの背景には ASD 特有の自己の感情認知の弱さやそれに伴う感情制御の困難があると考えられる。ASD の不安や怒りの感情制御の研究は児童期については行われているが、成人期の ASD を対象とした研究はなく、また、感情制御の困難の基盤にある自己の感情認知の困難にアプローチした研究もない。そのため、本研究では、成人期の ASD を対象に感情制御改善を目的とした小集団認知行動療法プログラムを作成し、その効果をランダム化比較試験によって検証した (研究は、大学病院医療情報ネットワーク臨床試験登録 (UMIN000006236) に登録された)。その結果、高機能 ASD 成人への小集団認知行動療法により、ASD に対する肯定的な考え方や適切な感情表現を増加させ、ネガティブな感情に対処するスキルを強化することができた。